

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学実習 I		糸 ふじ代 他		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
実習	2 (90)	県立大島病院	後期	月～金	8:00～15:00
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員が担当している。				
学修内容	リハビリテーション期にある患者の援助を通し、障害の適応また、日常生活の自立に向けた看護を学ぶ				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 回復期にある患者の特徴と、回復期における看護の特徴が分かる。</li> <li>2. 患者の健康障害と日常生活行動への影響が判断できる。</li> <li>3. 日常生活行動の自立への援助、教育的支援が実施できる。</li> <li>4. 患者がリハビリテーションに意欲的に取り組めるように援助できる。</li> <li>5. 障害受容への心理的サポートができ、患者のメッセージを聴くことができる。</li> <li>6. 社会復帰に向けて生活指導ができる。</li> <li>7. 行った看護を評価できる。</li> </ol>				
事前学習	運動器疾患患者の看護、脳神経疾患患者の看護				

### 授業計画

No.	授 業 内 容
1 日目～15 日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事前学習を提出する。</li> <li>2. 受け持ち患者：回復期にありリハビリテーションが必要な患者 日常生活援助を必要とする患者</li> <li>3. 実習の進め方 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 1 日目は学内にてオリエンテーションを行う。</li> <li>2) ヘンダーソンの理論に基づいた基本的看護を行うための情報収集をし、看護過程を展開する。</li> <li>3) 2 週目にケースカンファレンスを実施</li> <li>4) 1～2名の患者を受け持つ</li> <li>5) 最終日は学内にてリフレクションおよび課題学習を行う</li> </ol> </li> </ol>
履修上の要件	成人看護学 I～V を修得していること
テキスト、教材、参考書	領域別実習要項 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学 1～15 医学書院 系統看護学講座別巻Ⅱ リハビリテーション看護
成績評価の方法	成人看護学実習 評価表に基づいて出席状況、実習内容、実習記録、態度の総合評価
備考	